

公開講座の開設主旨・目的等

平成27(2015)年は太平洋戦争の終結から70年になります。大正6(1917)年に設立の私立川崎商船学校や官立神戸高等商船学校をルーツとする本学部ではこれまで数多くの商船士官を輩出してきました。しかし、残念なことに先の大戦では神戸高等商船学校の航海科、機関科卒業生のうち804名が徴用船や軍艦などで命を落としています。この講座では、戦前から戦中及び戦後にかけて、西の「深江」、東の「越中島」と愛称で呼ばれ、日本の船員教育の一翼を担ってきた本学部の沿革について紹介しながら、企画展2015のテーマや地元神戸に関連した講演を予定します。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月3日(土)	13:30~15:30	近代海事教育と日本商船隊の変遷 —海事科学部と山田早苗コレクション—	神戸大学 大学院海事科学研究科 教授 海事博物館専門員 内田 誠
2	10月10日(土)	13:30~15:30	軍人や軍需物資の輸送のみではなかった戦時中の商船・政府の管理または軍の監理になった商船 —戦時徴用船と陸海軍徴傭船との違い— ・連合国間との交換船、病院船、救恤(じゅつ)品運搬船及び引揚船 ・神戸空襲及び神戸港周辺における船舶の被害 —空襲から機雷爆発による被害まで—	戦没した船と海員の資料館 大井田 孝
3	10月17日(土)	13:30~15:30	新聞記事からみた太平洋戦争直前の日本海運 他 ・太平洋戦争の開戦時、我が国の商船に一隻も拿捕船が出なかったのは何故か。 ・世界第3位を誇った商船隊は殆ど戦没したが、開戦前の本来の姿はどのようなようであったか。	元神戸税関 広報室長 村井 正

連絡先

神戸大学海事科学研究科海事博物館

TEL・FAX : 078-431-3564

E-mail : siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されています。

メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。

(海事博物館不在の場合)

神戸大学海事科学研究科総務係 TEL : 078-431-6200